

安全な水の提供を可能にするバルブ『無鉛くん®』

近年、水道水への鉛の溶出を制限しようとする意識が高まっています。鉛は体内に蓄積されると有害であり、貧血、消化器官の障害、神経系の障害などをもたらすことが報告されています。特に胎児や乳幼児の知能障害などを引き起こす慢性毒性があり、世界保健機関（WHO）は飲料水の水質指針の鉛濃度（1リットルあたりのミリグラム）を0.01以下と定めています。

日本国内では、厚生労働省令第43号「水質基準に関する省令の一部改正について（通知）」の公布により、平成15年4月1日より鉛の水質基準を「0.01mg/ℓ」以下にすることが定められました。

当社では平成12年（2000年）7月、業界に先駆け『鉛なし青銅弁—無鉛くん®』を発売し好評を頂いております。平成14年（2002年）10月29日公布の厚生労働省令第138号に対応するため更にこれらの製品の拡充を致しました。※JIS「青銅弁」規格は平成15年3月20日公示です。

鉛レス青銅の化学成分

単位：%

材 料	成 分	Cu 銅	Sn すず	Zn 亜鉛	Bi ビスマス	Se セレン	Pb 鉛
代表的な鋳造品の分析値		86.1	4.3	7.7	1.6	0.16	0.1
当社鉛レス材料 JIS H5120 CAC 911 (LFBC)		83.0~90.6	3.5~6.0	4.0~9.0	0.8~2.5	0.1~0.5	0.25以下
従来の青銅材料 JIS H 5120 CAC406 (BC6)		83.0~87.0	4.0~6.0	4.0~6.0	—	—	4.0~6.0

「鉛なし青銅弁」の成分溶出性 浸出性能試験結果

項目	臭気	味	色度	濁度	銅	亜鉛	鉛	カドミウム	ひ素	ビスマス	セレン	フェノール類	過マンガン酸 カリウム消費量
試験結果	異常なし	異常なし	0.5度以下	0.1度以下	0.003mg/ℓ	0.012mg/ℓ	0.002mg/ℓ	検出限界 0.001mg/ℓ未満	検出限界 0.001mg/ℓ未満	検出限界 0.001mg/ℓ未満	検出限界 0.001mg/ℓ未満	検出限界 0.0005未満	0.1mg/ℓ
判定基準	異常でない事	異常でない事	5度以下	2度以下	1.0mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ以下	0.01mg/ℓ以下	0.01mg/ℓ以下	0.01mg/ℓ以下	—	0.01mg/ℓ以下	0.005mg/ℓ以下	10mg/ℓ以下
判 定	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合

JIS S 3200-7 水道用器具—浸出性能試験方法による

JIS 材料規格について

鉛レス銅合金材料については、今まで国内に流通している鋳物材料にJIS規格がありませんでしたが、平成18年2月20日公示でJIS H5120(2006)に4種類の鉛レス銅合金鋳物が規程されました。当社製品「無鉛くん®」には、ビスマス・セレン入り青銅鋳物1種（記号:CAC911）を適用します。

製品の識別

(1) 製品記号

製品記号の先頭に L または M の表示をします。

L：鉛レス材料製品 例：L J10 BSR

M：鉛除去表面処理製品 例：M125E BS

（但し、鉛溶出基準を満している事）

(2) 鋳出し表示

弁箱に L 又は ▲ の鋳出し表示をします。

（鉛レス材料製品のみ）

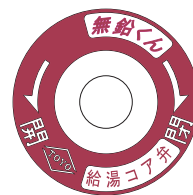
(3) 銘板、シール及び包装

⊗マーク（JV規格に規定された飲用の基準合格品）が表示されています。（日水協認証品のみ）

当社商品名『無鉛くん®』又は『鉛レス』『表面処理品』が表示されています。



給水用



給湯用

銘板表示例（コアタイトバルブ）